

「ソフト」から見た おおあらい

Vol.62



高 橋 宏

一般社団法人 日本潜水協会 会長
(三国屋建設(株) 代表取締役会長)

略歴
1958年7月25日生まれ。神奈川県足柄下郡真鶴町出身。
1982年に東海大学海洋学部航海工学専攻学科卒業後、三國屋サルベージ株式会社(現・三国屋建設株式会社)に入社。
2004年に同社代表取締役社長に就任、2014年より同社代表取締役会長に就任し現在に至る。
2020年よりウインド・パワー・マリンサービス代表取締役就任。
このほか、(一社)日本海上起重技術協会監事、(一社)日本潜水協会会長、NPO法人日本ビーチ文化振興協会監事を務める。

大洗町の『海』

日本潜水協会会长の高橋と申します。

初めに、当協会を紹介させていただきま
す。1973年、潜水業の健全な発展のも
とに、港湾等の社会インフラ整備の促進並
びに海洋開発の振興に努めることを目的と
して設立されました。

潜水士は、水中で働くことができる唯一
の職業となり、日本の社会と人々の生活を
水中から支える大きな役割を担っています。

潜水士の仕事を見たことはありますか?
大洗町では、震災後の復旧復興作業、津
波水門の建設、現在も最前線の水中で港の
整備作業に取組んでいます。

私から見た大洗町と言えばやはり『海』
です。

大洗町の『海』は、食を支える漁港、物
流を支えるフェリーターミナル、観光を支
えるサンビーチや水族館・飲食店・宿泊施設、
『海』の恵みが人々の暮らしと生活を豊かに
し、訪れた観光客も『海』を存分に味わい

マリンレジャーにも適したバランスの良い
リゾートへと成長しています。

私の勤務している会社も、9月に開催さ
れた花火大会に社員の慰労を兼ね24人が参
加しました。料理のおもてなしと頭上に上
がる18,000発の花火に感激し、一同
喜んで帰ってきました。

私は、花火大会には参加できませんでし
たが、毎年7月に仲間の皆様と大洗海岸に
集まり交流を深めています。海から運ばれ
た潮の香りと波の音を感じながら格別な時
間を楽しんでいます。

昨年7月、フェリーターミナルで大洗の
藻場再生に向けた取組みとするトーキイベ
ントが行われていました。恵まれた環境を
利用するだけではなく未来に向け守り育て
る活動も必要と感じています。大洗町の『海』
を大切に育て環境保護の一助となるよう私
たちも考えて行動したいと思います。

人々の暮らしと生活を育む大洗の『海』、
これからも一緒に楽しませていただきます。



「ソフト」から見たおおあらいでは、各界で活躍の方々から大洗についてのご寄稿をいただきます。